

会員創造委員会

1. 構成員
- | | |
|------|----------------|
| 委員長 | 田島 亘 |
| 副委員長 | 齋藤龍一 長棹万岳 加藤将伍 |
| 委員 | 今村隆 細田陽平 高野晋一 |

1. 予算額 未 定

1. 運営方針

組織においては人材こそが最大の宝であり、組織の維持と成長には人材確保が欠かせません。しかし、近年の会員数は減少傾向にあり、会員を拡大するにはどうしたらよいか、という課題もあります。新規入会が少ない要因の一つとして、認知度が低い、また飯能まつりなどの事業を企画運営していたのが青年会議所であるということを知らない、ということが挙げられます。そして飯能日高エリアで開催される行事に参画している我々としては会員数や例会などの参加率が減ってしまうと活動が縮小し、まちに与える影響力も小さくなってしまわないでしょうか。

人材確保に向けてはメンバー全員及び特別会員の知人友人といった候補者を、いつまでに何人声掛けするのかという具体的な目標と計画を打ち出すロードマップを作成します。会員拡大としてまずは広く周知していくために、事業の際や普段からも案内 QR コードや「メンバー募集中」といったチラシを掲載し、メンバー、特別会員の事業所にも掲載の協力をしてもらいます。また、入会間もない会員でも一年目から青年会議所の醍醐味を味わえる場こそ、巾着田春まつり、主催事業、飯能まつりです。企画から運営設営までを行うというのは大変ですが、共に苦楽を乗り越え作り上げる達成感はどこでしか味わえない特有のもので、直接的にまちや市民に影響を与えることができます。そして巾着田春まつりでは西入間青年会議所との合同開催、飯能まつり、主催事業についても企画段階からメンバーそれぞれに役割を担ってもらい、他委員会とも積極的に交流していき、事業を展開していきます。

地域の未来をより良いものに変えていこうという想いを具現化する時に、賛同者が多ければその想いは広く早くそして深く伝わります。その賛同者こそ会員であり会員同士が熱い想いをもって刺激しあい互いに成長することによって、組織が活性化され、新しい出会いと共に人材が人財となる。まさに組織の宝である人財が創造されるのです。そんな組織であるならば、おまつり事業や主催事業を通してまちに良い影響を与えられるのは間違いありません。そしてこの先も飯能青年会議所という組織がより一層、一致団結してまちの未来のために大きく羽ばたいていく事を確信します。

1. 事業計画

- ①日高市巾着田春まつり（3月）
- ②夏季総会懇親会（8月）
- ③主催事業（10月）
- ④飯能まつり（11月）
- ⑤会員拡大、フォローアップ